

衆院選2021ふりかえり

1. 選挙結果を数値で振り返る

～選挙結果を受け止めて考えたこと～

2. 地殻変動が起きなかったのは、なぜ？

3. ポピュリズムに対して、どう対処するか？

4. では、どうすればいいのか？

5. 市民連合のあり方について



選挙で変える!東京7区市民連合(ななれん) 荻澤 進

1. (1) 東京：比例代表得票率の推移 自公

	自公+α計				
	2014年	2017年	2021年	直近増減	2014比増減
	44.52	42.23	42.12	-0.11	-2.40
自民党	32.06	30.47	31.02	0.55	-1.04
公明党	12.15	10.81	11.10	0.29	-1.05
日本のこころ	0.00	0.68	0.00	-0.68	
幸福実現党	0.31	0.27	0.00	-0.27	

2014年比較では、減っている
2017年比較では、自民・公明
単体で微増に見えるが…
こころ・幸福実現を出させずに
引き締めた結果に過ぎない。

傾向として減っているのだが、
大きく減っているわけではない。

自公が勝ったとは、言えないよね～。



(2) 東京：比例代表 立憲野党計は？

- ・ **立憲野党計**では、2014年比で微増、希望の党に流れた2017年比では、増えている=挽回している。
- ・ **共産**はあれだけ候補を譲っても比例で減ってない。(2014年は民主党政権への幻滅が、共産党へ流れた。)
- ・ **立憲**は一人負け。希望の党に入れた分から2.69%戻ったと見ると、6%強減っている計算になる。
- ・ 立憲が減らした分、**れいわ**が増えている。(れいわがなかったら、立憲野党計で減っていたかも。)

	立憲野党リベラル計				
	2014年	2017年	2021年	直近増減	2014比増減
	36.65	34.90	37.49	2.59	0.84
立憲民主党	0.00	23.58	20.06	-3.52	3.75
日本共産党	15.37	10.37	10.40	0.03	-4.97
社会民主党	2.26	0.95	1.44	0.49	-0.82
れいわ新選組	0.00	0.00	5.59	5.59	
民主党	16.31				
生活の党	2.71				

立憲野党リベラル計は減っていない!増えている。
ただ、大きく増えたわけでもないよね~。

選挙で変える!東京7区市民連合(ななれん) 荻澤 進

(3) 中道・改憲派・ポピュリズム計では？

	中道？改革？改憲？ポピュリズム？ 計				
	2014年	2017年	2021年	直近増減	2014比増減
	18.84	20.76	18.07	-2.69	-0.77
希望の党		17.44	0.00	-17.44	
維新の会	14.16	3.32	13.32	10.00	-0.84
国民民主		0.00	4.75	4.75	
新党改革	0.29				
次世代の党	4.39	0.00	0.00		

維新を支持する層は急には増えたのではなく、だいたい18%くらい存在している。「改革」「改憲」をキーワードとし、ポピュリズム手法を取る政党は、むしろ**微減傾向**にある。



データをしっかり見ないと…
メディアはミスリードしているよね～。

選挙で変える！東京7区市民連合（ななれん） 荻澤 進

(4) 小選挙区の政党別投票率は？

	自民・公明計		
	2017年	2021年	直近増減
	44.90	42.91	-1.99
自民党	42.97	41.32	-1.65
公明党	1.93	1.59	-0.34

	立憲4党計		
	2017年	2021年	直近増減
	33.58	39.33	5.75
立憲民主党	22.01	32.08	10.07
日本共産党	10.92	6.26	-4.66
社会民主党	0.65	0.26	-0.39
れいわ新選	0.00	0.73	0.73

	中道？改革？改憲？ポピュリズム？ 計		
	2017年	2021年	直近増減
	19.98	14.03	-5.95
希望の党	19.98		-19.98
維新の会		12.86	12.86
国民民主		1.17	1.17

野党共闘の効果を見るために2017年と比較すると…自民・公明は微減
立憲野党4党は増えている。比例合計の37.49%より多い！
小選挙区で勝った候補も、**4人→8人へ倍増**した。
野党共闘が失敗したというデータは、東京では存在しない。

よっしゃ～！



選挙で変える！東京7区市民連合（ななれん） 葦澤 進

(5) 投票率はどうだった？

	投票率の推移（東京・小選挙区計）				
	2014年	2017年	2021年	直近増減	2014比増減
男性	54.88	53.73	56.93	3.20	2.05
女性	53.85	53.55	57.48	3.93	3.63
合計	54.36	53.64	57.21	3.57	2.85



一步一步だね。

投票率は、2014年～2017年は低迷していたが、今回アップした。

変化の兆しがある。特に女性の投票率がアップしている。

しかし、**地殻変動**を起こすほど増加してはいない。

過半数議席を獲得するために、何%上げることが必要なのか？ 計算してみたい。直観では、10%かなあ？（うち7%分を取る前提で）

選挙で変える！東京7区市民連合（ななれん） 葦澤 進

データの振り返り まとめ

【1】自民・公明は傾向として減っている。

【2】中道・ポピュリズム政党は、微減。

【3】立憲野党リベラルだけが伸びている。

ただし立憲民主党は一人負けて、れいわがカバーした。
候補者を譲っても、共産は比例を減らしていない。

【4】投票率には変化の兆しがある。

【5】地殻変動を起こせてはいない。



落ち込む必要はないけど、
地殻変動を起こせなかったことは
しっかり分析しないとね!

各地域でも、ぜひ分析を!

選挙で変える!東京7区市民連合(ななれん) 葦澤 進

2. 地殻変動が起きなかったのは、なぜ？

政権交代!と
訴えたのは
正解だったのか
な…?



【1】**政権を任せるほど信頼されていなかった**、ということ。

【2】**ギリギリまで候補者調整できなかった**ところに政権を任せようと思うかな？ 思わないよね。政策実行力を疑われる。4月の3補選後に政策合意して政策対案を出していたら…ギリギリになるのなら、与野党伯仲を訴えるべきだったのでは？（選挙はうっぶん晴らしてではありませんので。）

【3】立憲民主党にも、日本共産党にも、**説明責任を果たして**いない課題があったと思う。批判勢力としてなら気にならなくても、政権を委ねるときには気になってしまうことが…。

【注】これは個人の仮説です。

選挙で変える!東京7区市民連合(ななれん) 荻澤 進

説明責任を果たせていない課題とは？

【1】**立憲民主党**は、「民主党政権がなぜ失敗したのか」「次に失敗しないためにどうする計画なのか？」これを説明していません。説明しないで「民進党」に党名変更したのは悪手だと思います。立憲民主党になってリセットした…とはならないと思います。

【2】**立憲民主党**は、国民民主党との合同において、「希望の党へ行った人たちはあの時の行動をどう考えているのか？」「それをどう総括して立憲民主党と合同したのか？」「総括しないで一緒になったのか？」ここを説明していません。

【3】**日本共産党**は「中国、北朝鮮が、共産主義を標榜しておきながらなぜああいう国家になってしまったのか？そのメカニズム。日本共産党がそうならないために何をしてるのか？」ここを説明していません。



本気で政権交代を目指してほしいから…
あえて苦言を呈します。

【注】個人の仮説です

3. ポピュリズムにどう対処するか？

ポピュリズム系政党が微減しているとはいえ、18%の得票を維持していることは看過できません。

「**既得権を引きはがせ**」はルサンチマン(社会的な恨み)をベースにしたポピュリズムの得意技です。維新はこれをうまく活用して、官僚・役人、議員、労組などを標的とします。



リベラル側の「**お友達政治批判**」は、残念ながら「美味しい汁を吸っているぞ」という点で論理的には…同じ論理構造になります。この論理では「自分の生活」は改善されず、ただの「うっぶん晴らし、義憤晴らし」にしかありません。この論理に軸足を置くと、最終的に維新のアピールに吸い込まれ、票は維新に流れていくと思います。

維新が「既得権益の**改革**」を訴え、リベラルが「金権癒着の**変革**」を訴えるとき、「改革」が選ばれる可能性が高いと思います。

怒りたいことは多いんだけどさ…

なぜポピュリズムに勝つのがメンドクサイのか？

なぜ維新に流れるかと言えば、「**金権腐敗、利権政治**」より「**法により保護された存在**」の方に、より大きな憤りを抱くという**社会的な心情**が蔓延しているように思うからです。金権腐敗・利権政治は本人たちに才覚（商才）がなければできないことですが、法によって保護されている存在は本人の才覚とは関係ない、たまたまその地位にいたから得をしている…ように見え、より強い憤りを感じるからです。これはビジネスマインドの浸透が影響しています。



つまり、正義感に基づく「公正な政治を求める」ことは、**それだけでは**義憤晴らしになってしまい、既得権打破を叫ぶポピュリズムと情動的に地続きであり、最終的に上記の理由でポピュリズムに勝てない状況になると思います。

確かに、メンドクサイなあ…

選挙で変える！東京7区市民連合（ななれん） 荻澤 進

4. では、どうすればいいのか？

大事なことは、自分たちの生活を向上させていくことです。「うっぶんばらし」は「生活の抜本的な向上」をあきらめているともいえます。



あきらめの心情が
あるとダメなんだね

生活の向上をあきらめるという心情の根底には、

・社会保障などで大多数の**国民生活を向上させると、「国家財政が破綻する」という刷り込み**と、

・**政治に私たちの声が届くことはないというあきらめ**があると思います。

こうなってしまうと、「国家施策による生活向上ができないなら、せめてうっぶん晴らしくらいさせてくれ」ということになると思います。

大事なのは**政治の力で大多数の人の生活を向上させることが可能だという提示**だと思っています。

ということとは？

生活を向上させるときに2つの方法があります。
ひとつは**利権の恩恵**にあずかること…自公政治の方法論です。

もうひとつは、**総合的な施策で大多数の生活を向上させる**ことです。
つまり、個別政策への対案では、不十分になります。
個別政策をまとめて、実際にどう実現していくのか？
予算措置と時間軸を含めて総合的に提示する…
いわば、**政権対案**が必要になると思います。

そのうえで、利権の恩恵をめざしますか？ただのうっぶんばらして満足しますか？ それとも…？ という提示だと思っています。



この3択で、
どうよ？

5. 市民連合の今後のあり方は？

- (1) **政党どうしをつなぐ役割**として社会的認知を得ています
- (2) 市民と政党との**政策合意形成をはかる役割**もあります
9/8の立憲野党との政策合意は歴史的な価値がありました。

(3) 機能として弱いのが、実際に色々苦しんでいる市民の参加です。客観的にみると、市民連合は「野党共闘で政治を総体として変えたいと思っている市民」の参加にとどまっていると思います。

(4) 客観的には、大多数の市民が色々な問題で苦しんでいたり、変えたいと思っていることにそれぞれの場で取り組んでいます。



市民連合は
大事な役割

もっと多くの
人たちと
ともに…

選挙で変える!東京7区市民連合(ななれん) 荻澤 進

市民連合は、プラットフォームに

様々なシングルイシューで取り組んでいる方々を取りまとめて、総合的に政治を変えていく**プラットフォーム**になっていく…という方向はいかがでしょうか？

そして、立憲野党とともに、政権対案をつくっていく。

全国的なシングルイシュー団体は、市民連合（全国）のプラットフォームへ参加し、都道府県単位・市区町村単位の地方組織や地方ごとのシングルイシュー団体は、都道府県単位・市区町村単位の市民連合組織へ参加する…というイメージです。

運営方法もガラッと変えないといけませんが。

東京・中野では「**みんな集合だよ！イベント**」を開催し、30団体が参加して、それぞれ発表する…ということを行いました。各団体の方々も喜ばれていました。



選挙で変える！東京7区市民連合（ななれん） 荻澤 進

後半はすべて個人の仮説です

皆さんで話し合っていく上での、素材のひとつになればうれしいです。

私個人の仮説なので、結論にはこだわりません。



ご意見をいただけると嬉しいです。

選挙で変える!東京7区市民連合(ななれん) 荻澤 進